

寺尾紗穂 ソロコンサート



撮影：森のゆう

この度、丸亀市猪熊弦一郎現代美術館(MIMOCA)は、連携交流事業として国内外で活躍する音楽家・寺尾紗穂を迎えたワンマンライブを開催いたします。

日	時	2025年12月13日(土) 開場 17:30 / 開演 18:00
会	場	丸亀市猪熊弦一郎現代美術館2階 ミュージアムホール
主	催	馬場商事、丸亀市猪熊弦一郎現代美術館、公益財団法人ミモカ美術振興財団、独立行政法人日本芸術文化振興会、文化庁

丸亀市猪熊弦一郎現代美術館 / 公益財団法人ミモカ美術振興財団

プログラム担当：島田里都子、堀本宗徳

広報担当：佐伯美帆、谷村無生

〒763-0022 香川県丸亀市浜町80-1

TEL 0877-24-7755 FAX 0877-24-7766

MAIL press@mimoca.jp WEB www.mimoca.jp

— 開催主旨

この度MIMOCAはシンガーソングライターの寺尾紗穂によるワンマンライブを開催します。

寺尾は、音楽作品自体の評価に加えて、現代美術作家を含む他分野の人物と広く協同するなど、多様な音楽活動の展開も注目を集めています。

当館は「より多くの人々に愛され、親しまれる美術館」を目指し、展覧会事業にとどまらずワークショップやイベントなど多様な取り組みを重ねてきました。本企画もそういった連携交流事業(+MIMOCA)の一環として、暮らしの中にMIMOCAをプラスし、市民の日常をより豊かにするきっかけをつくることを目的に実施します。

なお本公演は、こうした当館の姿勢と通じる「まちと人をつなぐ」という理念を掲げて、丸亀市内で活動する馬場商事と共催します。



寺尾紗穂(てらおさほ)

1981年東京生まれ。2007年アルバム『御身』でデビュー。映画『転校生 さよならあなた』(大林宣彦監督)、『0.5ミリ』(安藤桃子監督)などの主題歌提供、KDDIや無印良品などのCM音楽制作を手がける。オリジナルの発表と並行し、各地に伝わる古謡の発掘・再編をライフワークとする。アートプロジェクトへの参加も多く、モンゴルやホンジュラスでの演奏など海外活動も広がる。NHK「Dear にっぽん」テーマ曲「魔法みたいに」は高校音楽の教科書にも掲載。小林エリカを脚本に迎えて取り組む、戦前・戦中期の女性たちを描き出す音楽朗読劇や「ビッグ・イシュー」支援イベント「りんりんふえす」の主催など、幅広い活動を展開。バンド「冬にわかれて」としても活動し、近年のアルバム『余白のメロディ』『しゅー・しゃいん』はいずれも『ミュージック・マガジン』年間ベスト(ロック/日本部門)の10枚に選出。最新作は『わたしの好きな労働歌』。書籍最新刊は『戦前音楽探訪』(ミュージック・マガジン社)。

詳細

日時 12月13日(土)17:30開場 18:00開演 20:00ごろ終了予定

会場 丸亀市猪熊弦一郎現代美術館(MIMOCA) 2階ミュージアムホール

料金 一般 5,500円

高校生以下 2,000円 ***未就学児は膝上での鑑賞の場合は無料。ただし、未就学児であっても席をご利用の場合はチケットの購入が必要となります。**

ミモカフレンド会員 5,000円(会員様ご本人+1枚、合計2枚まで会員料金を適用)

ふれんど中讃会員 会員割引あり

チケット 9月18日(木)10:00よりPeatixにて販売開始

<https://peatix.com/event/4554860>



馬場商事(ばばしょうじ)について

2021年8月創業の不動産会社。創業者である祖父から現オーナーが事業を引き継ぎ運営している。不動産仲介業の傍ら、宿泊事業を立ち上げ、移住体験ができるゲストハウス「ババノバ」の運営も2024年6月よりスタート。カフェ & バーとコワーキングスペースが併設されており、旅人だけでなく、街の人々にも開放するなど、まちのコミュニティづくりも実践する。

詳細：https://www.instagram.com/babanoba_guesthouse/